

# 平成27年度盛岡二高華道部・JRC同好会 復興交流活動

7月18日(土)、華道部・JRC同好会から28名の生徒が大槌町を訪問しました。震災以来、華道部・JRC同好会では継続して復興交流活動を行ってきました。その心を繋ぐと共に、直接被災地に赴き、活動をとおして東日本大震災と向き合い、震災の記憶を忘れず、今、そしてこれから、自分達に何ができるかを深く考えたいとの思いから今年度も復興交流活動を計画しました。

## 【午前 菜の花プロジェクト】

盛岡二高が大槌町菜の花プロジェクトに参加するのは今回が3回目です。1回目は雨天により、悔しくも作業ができませんでした。2回目、そして3回目となる今日は天気にも恵まれ、無事に作業を終えることができました。3年生の中には、菜の花プロジェクトは2回目の参加となる生徒も複数いました。迎えてくださったプロジェクト創設者・金山文造さんの変わらぬ笑顔に2年前を思い出しました。



説明を伺って、さあ、作業開始！



初参加！1年生もがんばってます！



3年生！慣れたものです！



てんとう虫発見！

暑い中でしたが、生徒は休む時間も惜しんで作業に取り組んでいました。来年もここに菜の花の絨毯が広がりますように。



全員で記念撮影。中央右が金山さん、中央左は今回お世話になったもりおか復興支援センター鈴木さんです。ありがとうございました！



汗を流したあとのご飯は格別でした！

## ～生徒の感想から～

- ・河川敷の草や石を取る作業は暑い中で大変でしたが、意外に早く終わったように思います。菜の花がきれいに咲いて、みんながそれを見て元気になったり勇気をもってもらえたらいいなと思いました。一面に咲いたら、私も立派に育った菜の花を見に行きたいです。
- ・草取りや石拾いをするのは疲れたけれど、川の方に並べてある石をみて、金山さんや町の方々がかつたんだと思うと、私もがんばれました。
- ・掘れば掘るほど、大きな石が出てきて、震災のひどさを思い知らされた気がしました。でも、土の中にいた幼虫や生き物を見て、命が戻ってきてるんだと感動しました。
- ・菜の花が復興の大きな希望となり、笑顔の元になれば良いなと願っています。



## 【午後① 大念寺訪問】

午後は、金山さんにご紹介いただき、大念寺さんにお邪魔しました。

大念寺は現在の大槌町役場(旧大槌小学校)のすぐ裏手にありました。そこで住職から震災当日の出来事、その後数ヶ月に及んだ避難してきた方々とのお寺での生活、ボランティアの方々や子どもたちが集まる「復興寺子屋」を開いたこと等のお話を伺いました。

津波だけではなく、大規模な火災も起きていた…初めて知る事実も多く、生徒は真剣に住職のお話に耳を傾けていました。



また、この日は、読み聞かせの会の活動日でもありお寺に来ていた子どもたちが絵本の読み聞かせをしてくれました。住職の奥様や子どもたちが丁寧に読んでくれる世界に引き込まれるようでした。金山さんも手作りの紙芝居を見せてくださいました。生徒たちはどのようなことを考えながら聞いていたのでしょうか。

最後に、感謝の気持ちを込めて、華道部が学校で思いを込めて作った花ろうそくをプレゼントさせていただき、大念寺を後にしました。



### ～生徒の感想から～

- ・一番驚いたのは、大槌は津波があった後、火の海となっていたことです。お話を聞かなければ気づかないことわからなかったことがたくさんありました。
- ・家があって、学校があって、教室があって…こうして生活できていることがどんなに幸せなことなのかを考えさせられました。日々何事にも感謝を忘れずに生活していきたいです。
- ・震災体験を通して描かれた本の読み聞かせをしてもらい、こうして絵本によって世代を問わず、文字・言葉・絵の力で後世まで語り継ぎ、残していくことができ、その大切さを感じました。

## 【午後② 旧大槌町役場にて～花ろうそく献上・語り部さん講話～】

最後に、旧大槌町役場前に移動し、献花台に花ろうそくを献上し、全員で黙祷を捧げました。ここでは、震災で旦那様と娘さんを亡くし、有志で献花台の掃除を続けられている上野さんと、献花台を雨風から守るための建てやを建設された「和リングプロジェクト」代表池ノ谷さんからお話を伺うお時間をいただきました。震災当時は関東にお住まいだった池ノ谷さんがなぜ大槌に来ることになったのか、そして震災から4年が経過した今、町がどのように変わろうとしているのかをお話いただきました。



続いて、一昨年にもお世話になった「おらが大槌復興夢広場」より、語り部として神谷さんにお越しいただき、震災から現在に至るまでお話いただきました。たくさんの方々から、それぞれの視点や立場からみた震災と震災復興についてお話をいただき、生徒の視野に広がり生まれたのではないかと思います。お話後の質問時間では、たくさんの生徒が神谷さんの周りに集まり、お話をいただいていた。

### ～生徒の感想から～

- ・今自分にできることは、今を生きることなのだという事に気づかされました。
- ・これからのこと、旧役場を残すか壊すか等たくさん問題があるけれど、私たちは他人事と思わず、しっかり目を向けていきたいと思えます。
- ・私は初めて旧役場の存在を知り、あの日から止まったままの旧役場の時計をみて大きな衝撃を受けました。
- ・今回出会った皆さんの語る言葉が私に力を与えてくれたように思えます。自分の素直な気持ちを伝えていきたいです。



今回の学びや感じた思いを、出会えたご縁を、これっきりにせず、これからも紡いでいきたいと思えます。

**たくさんの方々のご厚意・ご協力のおかげで、  
この活動が続けられています。  
本当にありがとうございました。**